

拉致問題の理解促進・情報発信にかかると最近の取組について

1. 国内向け理解促進活動

令和2年1月
拉致問題対策本部事務局

(1) 広報媒体の活用

- ・ 拉致啓発ポスターやパンフレットの製作・配布の実施。
- ・ 拉致問題対策ホームページの開設・運営。
- ・ 内閣府庁舎1階啓発コーナー「拉致問題を知るひろば」の運営。
- ・ 映画「めぐみ—引き裂かれた家族の30年」及びアニメ「めぐみ」の上映会の開催。
- ・ 「拉致被害者御家族ビデオメッセージ～必ず取り戻す！愛する家族へ～」を制作し、上映会を開催するとともにホームページにて公開。
- ・ 自治体広報誌における拉致問題の取り上げ等を促す大臣名通知を各都道府県・政令指定都市の首長あてに発出（平成30年7月10日付）。

(2) 若年層への啓発の強化

- ・ アニメ「めぐみ」のDVDを作成。全国の小学校、中学校、高等学校、公立図書館に無償配布し、上映を促進。学校からの要望に応じて事務局職員を派遣し、拉致問題の概要を説明。
- ・ 中高生を対象とした作文コンクールを実施。優れた作品には大臣表彰を年末の国際シンポジウムにおいて実施。
- ・ 拉致問題担当大臣及び文部科学大臣の連名で、アニメ「めぐみ」等の学校上映及び作文コンクールへの参加を促す通知を全国の教育委員会等あてに発出（平成30年3月7日付）。
- ・ 平成30年度から小中学校及び高等学校の教員等を対象とした研修を実施。
- ・ 初等中等教育に携わる教員を目指す大学生を対象に、授業の指導案を作成し、実際に授業を行うことを通じて実践事例を積み重ねていく事業を実施（令和元年度新規事業）。
- ・ 「こども霞が関見学デー」において、拉致被害者御家族との意見交換会、VR（仮想現実）による拉致現場体験、ラジオメッセージ収録体験、アニメやまんが「めぐみ」の視聴等を通じて子供達に拉致問題を知ってもらうコーナーを実施。



(3) 「拉致問題を考える国民の集い」の開催

- ・ 地方公共団体及び民間団体との共催等による啓発行事として平成20年度から全国各地で「拉致問題を考える国民の集い」を開催。
- ・ 今年度は全国5都市（神奈川県、鳥取県、熊本県、香川県、奈良県）で実施予定。

(4) 拉致問題啓発舞台劇公演「めぐみへの誓い—奪還—」の開催

- ・ 拉致問題啓発のための舞台芸術事業の一環として、地方公共団体との共催により、舞台劇公演「めぐみへの誓い—奪還—」を開催。
- ・ 今年度は全国4都市（東京都立川市、石川県能美市、神奈川県川崎市、徳島県阿波市）で実施予定。



(5) 北朝鮮人権侵害問題啓発週間における政府主催行事の開催

- ・ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間にあわせ、平成18年より毎年、政府主催で講演会やシンポジウムを開催。令和元年度は、12月14日に、政府主催国際シンポジウム～グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携～を開催（共催：法務省、後援：外務省、文部科学省）。
- ・ 米国グローバルメディア庁との連携により、シンポジウムの模様を韓国語で北朝鮮向けに生中継。



2. 海外向け理解促進活動

- ・ 拉致問題の解決には国際社会との連携が重要であり、海外でも政府主催の国際シンポジウム等を開催し、国際社会に向けた情報発信と連携強化に取り組んでいる。
- ・ 平成29年5月、加藤大臣（当時）がベルギー・ブリュッセルの欧州議会を拉致問題担当大臣として初めて訪問し、欧州議会議員と拉致問題に関する政策対話を実施。
- ・ 平成30年5月、加藤大臣（当時）が米国を訪問。NYの国連本部において、日本、米国、韓国、EU、豪州の共催により、拉致問題を含む北朝鮮の人権問題に関するシンポジウムを開催。
- ・ 令和元年5月、ハドソン研究所、日本政府及び北朝鮮人権委員会（HRNK）共催の拉致問題に関するセミナーをワシントンDCにおいて開催。
- ・ 令和元年5月、菅官房長官兼拉致問題担当大臣が米国を訪問。NYの国連本部において、日本、米国、豪州、EUの共催により「グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携」をテーマにシンポジウムを開催。



NY国連本部でのシンポジウム（令和元年5月）

3. 情報発信（北朝鮮向けラジオ放送）

（1）内閣官房運営「ふるさとの風」「日本の風」

- ・ 北朝鮮に囚われている拉致被害者に御家族の声や励ましのメッセージを伝えるとともに、北朝鮮の人々の我が国に対する理解を増進する情報の発信等を行うため、平成19年7月から「ふるさとの風（日本語）」及び「日本の風（韓国語）」を毎日放送。
- ・ ニュースジャンルや使用音楽の多様化等、放送コンテンツの充実化に取り組中。
- ・ 特定失踪者問題調査会の「しおかぜ」と平成27年12月以降、共同でラジオ番組の公開収録イベントを開催。
- ・ 共同で番組制作等を行うなど、海外の北朝鮮向けラジオ放送局とも連携（平成29年4月及び平成30年4月にRFA、平成30年7月にVOA）。

（2）特定失踪者問題調査会「しおかぜ」における政府メッセージ送信

- ・ 日本政府の立場やメッセージを伝える機会を増やす観点から、特定失踪者問題調査会の「しおかぜ」による政府メッセージ送信を平成22年度から業務委託。令和元年4月からの「しおかぜ」短波二重放送化に伴い、同年6月から政府メッセージ送信の二重放送を実施。



放送時間帯・周波数	
日本語番組（ふるさとの風）	
・ 2時30分～2時57分	周波数：729.5kHz(300kw)、970.5kHz(300kw)、953.0kHz(300kw)
・ 2時58分～3時0分	周波数：729.0kHz(300kw)、956.0kHz(300kw)、970.5kHz(300kw)
・ 2時0分～2時58分	周波数：604.5kHz(300kw)、969.0kHz(300kw)、944.5kHz(300kw)
・ 2時58分～2時59分	周波数：615.5kHz(300kw)
韓国語番組（日本の風）	
・ 2時0分～2時30分	周波数：729.5kHz(300kw)、970.5kHz(300kw)、953.0kHz(300kw)
・ 2時30分～2時58分	周波数：729.0kHz(300kw)、956.0kHz(300kw)、944.5kHz(300kw)
・ 2時58分～2時59分	周波数：615.5kHz(300kw)

※上記放送時間は日本時間（JST）、周波数は2018年10月末現在のもので、

放送時間対米本部ホームページ「ふるさとの風」「日本の風」は放送時間対米本部のホームページでも公開されています。

詳しくは以下のHPアドレスをご覧ください。

<http://www.mof.go.jp/>

情報提供：拉致被害者に関する情報は、以下のアドレスまでお寄せください。

info@moa.go.jp